

148万市民の“おさいふ”について知ろう

◆ 川崎市の「おさいふ」

ページ

1

「予算」は目的に応じて計画的につくられています。

1

◆ 平成28年度予算のはなし

2

一般会計は市の予算の中心。最も大きな「おさいふ」です。

3

3

市民一人あたりの予算の使いみちは？

5

☞☞△ 家計簿におきかえてみると…

6

4

安定した市政運営を行うため、お金の使い方は常に見直します。

7

5

市民生活に身近な「市の仕事」。ここにも予算が使われています。

8

6

平成28年度予算で行う主な事業をチェックしましょう。

9

◆ 川崎市の財政を知ろう

7

川崎市の財政状況は大丈夫なの？

13

8

扶助費にはどんな傾向があるのかな？

15

9

人件費は適切な額になるよう見直しに努めています。

17

10

市の将来像を確認しながら借入金のバランスを考えています。

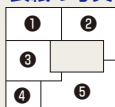
19

☞☞△ 市はなぜ市債の発行(借金)をするのでしょうか 20

あなたも川崎市をサポートできます！ 21

知っていますか？これも市の事業なんです。 22

表紙の写真



①119番受信から迅速な出場指令までの初動体制を整えている「消防指令センター」 ②都市の拠点となる地区を重点的に整備し活力あるまちづくりを推進「武蔵小杉駅周辺地区」 ③水素社会の実現に向けて、市公用車に導入した燃料電池自動車「MIRAI」 ④市民の声がしっかり伝わる身近な市政の実現のため、各区において市長が直接意見を聞く「区民車座集会」 ⑤中学校給食の完全実施に向け、平成28年1月から試行実施が行われている東橘中学校の様子



「安心のふるさとづくり」の実現へ(市内保育園)

介護♡予防いきいき大作戦 川崎市

誰もが生き生きと暮らせるまちへ「介護ラブ予防いきいき大作戦」



身近な資源物とごみのことについて考える環境教育・学習の取組「ふれあい出張講座」



再生可能エネルギーと水素を用いた世界初の自立型エネルギー供給システム「H2One」の共同実証